

特別支援学校のあり方について

貝増 吉郎 議員
(自民・無所属議員団／桑名市・桑名郡選出)

問

四日市市にある西日野にじ学園の児童生徒が急増し、過密な状況にあります。また、広い北勢地域に知的障がいの子の児童生徒を受け入れる学校が1校しかないため、通学などが負担になっています。

4月からは杉の子特別支援学校でも受け入れが始まりますが、一時しのぎです。既存の県立学校の施設を利用し、桑名・員弁、四日市、鈴鹿・亀山の3地域に配置してはいかがですか。



答

特別支援学校の整備については、県内全域を視野に入れ、中長期的な視点に立って段階的に進めていくこととしていきます。

北勢地域については、県立高校の再編活性化とあわせ、既存の施設を活用しながら、桑名・員弁、鈴鹿・亀山にも設置する方向で検討を進めています。

その他の質問事項

○県立博物館 ほか

食の安全安心を確保する伊勢湾浄化の推進

藤田 泰樹 議員
(新政みえ／四日市市選出)

問

水産物が豊かな三重県では、地産地消を進めるためにも伊勢湾の浄化を進め、豊かな海を再生することが重要であり、ひいては水産振興にもつながります。

海域の浄化能力の向上については、英虞湾ではヘドロの浚渫、藻場・干潟の造成に取り組んでいます。規模の違う伊勢湾に対して、どう取り組もうとしているのでしょうか。研究開発の面からも併せてお答えください。

答

「陸域からの汚濁負荷の削減」「生態系の保全・回復による自然浄化能力の再生」「多様な主体の連携による環境保全活動の活性化」の3本柱で取り組めます。

また、英虞湾での研究成果を生かし、人工干潟造成技術の開発、アマモ場造成



再生したアマモ場

による実証実験、海底のヘドロ分布調査などに取り組んでいます。その他の質問事項

○子育て支援のための保育サー

ビスの充実 ほか

国道368号の4車線化

中森 博文 議員
(自民・無所属議員団／名張市選出)

問

国道368号は、伊賀市と名張市、名張市と名阪国道を結び緊急時の幹線道路であり、4車線化の整備が必要です。

上野IC手前の大内橋から名張市内の国道165交差点までは、既に用地買収済みであり、早期4車線化が待たれます。

上野ICの改良を含めた大内橋拡幅工事、また伊賀市と名張市間の全線4車線化の今後の取り組みについて伺います。



国道368号

答

現在、名阪国道上野IC付近の大内橋から伊賀市菖蒲池間の区間の整備を進めており、今後は国道165号間も含めて4車線化に向けて鋭意努力します。

また、名阪国道からの円滑な流れを確保するため、大内橋拡幅と上野ICの改良整備が必要と考えており、早期事業着手ができるよう、国と調整を進めます。

その他の質問事項

○教育の再生 ほか

孤独死・孤立死

萩野 虔一 議員
(新政みえ／熊野市・南牟婁郡選出)

問

高齢者の単身世帯が増加し、誰にも看取られず、孤独に死を迎える人が増加しています。

厚生労働省は、孤立死ゼロモデル事業を立ち上げ、熊野市と志摩市を指定していますが、どのような事業なのでしょう。

また、過疎地だけでなく都市部でも単身高齢者や高齢者のみの世帯が増加していることから、全県的な調査を実施する必要があると考えます。

答

モデル事業では、①孤立死の事例収集と分析②見守りネットワークづくり③高齢者と市との間の双方向通信システムの整備を行っており、高く評価されています。

県では、この成果を他の市町に波及させたいと考えており、必要であれば全県調査の実施も検討したいと考えています。

その他の質問事項

○検視官・解剖 ほか

